

2022年度 <特例> 2級実技試験について

2022年度の**2級団体受験**をお申しいただく際は、**3パターン**から受験方法を選択してください。
資材や問題用紙がそれぞれ違いますので申込時にお知らせをお願いします。

特例① セルフメイク試験を**団体内会場**で行う（**現場での審査**※審査員派遣は事前相談）

特例② セルフメイク試験を**在宅等**で行う（画像提出での審査）

・従来通りのモデルへのメイク試験を団体内会場で行う
（**現場での審査**※審査員派遣は事前相談）

≪ 特例① の詳細と注意事項 ≫

○実技試験とメイク審査の運営方法

受験者を教室等に集合させオーダーの発表、各受験者がセルフメイクを行い完成後**審査員が目視で審査**。準実技審査員、または検定事務局より派遣する審査員による一斉審査を行う。

※マナーのマークシート問題10問とセルフメイク合わせて**30分間の試験時間**を原則とします。

※準実技審査員による審査では従来通り、確認用のメイク画像を提出してください。

会場での実技試験実施時は各団体で定める感染予防策に加え検定事務局による**感染予防対策ガイドライン**も厳守していただくようお願いいたします。

☆メイクセラピー検定 会場実施のガイドライン☆

- ・入場時に手指消毒を行う
- ・受験座席は同一方向に向け1m以上の間隔をとる
- ・会場内での私語は禁止する
- ・入場はマスクの着用を必須とする
- ・メイクに必要な時のみマスクを外す
- ・メイク道具の衛生管理を行い、貸し借り、共有はしない
- ・風邪症状や発熱している者の受験、入場は禁止する

※各会場の事情により判断可

※審査員、試験監督も受験者と同様にガイドラインを厳守